

令和7年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

ミーティングルーム2

日 時：令和7年8月31日(日)14:00～15:30
場 所：ラディアン ミーティングルーム2
参加者：21名（ほか地区長7名）

町民センターの利用時間について

参加者	我々の団体は町民センターで活動をしている。町民センターは、慣例で予約時間の10分前に入館ができたが、昨年からは入館できなくなってしまった。一方で、町が事業で使用する場合には入館が認められており基準があいまいである。また、A4版の利用案内が利用毎に渡されるが、資源の無駄ではないか。改善ができないか検討してほしい。
町長	A4版の利用案内は、部屋に掲示されていれば十分であり、改善することができるを考える。ラディアンは、町の事業で使用する場合であっても、開館時間前には入館できない決まりとしている。町が事業で使用する場合に、開館時間前に入館していることも含め、利用時間について確認する。
財産経営課	町民センターの利用に関する運用は、これまで公共施設として一部に曖昧な対応が行われてきたため、サービスの公平性という観点からも、利用時間を守ることを原則とし、周知徹底を図ることとする。屋外での待機も同様に、施設管理の観点から時間通りの運用が適切であると考えている。 なお、町の事業は「公共目的」に基づくものであるため、施設の利用時間外においても、産業振興課職員の出入り、点検・清掃作業など業務委託先の活動を行う場合がある。また、これまで主催者やイベントの形態に応じて柔軟に対応してきたことで、かえって運用が混乱する事例が発生しており、今後は原則として利用時間通りの運用とする方針である。 「町民センター利用時の注意事項」の配布は、令和6年6月から実施している。これは、設備や備品類の破損、利用時間の遵守が徹底されていないなど、利用マナーの低下が著しい状況を受け、全利用者へ共通の注意事項として周知することが目的である。 利用案内を印刷したプリントの運用方法は引き続き検討を行い、資源の無駄にならないよう、再利用を図れる方法に改善する。 公共施設として不特定多数の方が利用する場である以上、どの利用者にも共通してお伝えしたい内容であるため、ご理解いただきたい。

葛川の治水対策について

参加者	葛川は、新原田橋付近では川幅が狭くなっている。しかし、県が実施する治水対策は上流である。下流の対策をしなければ、根本的な解決に至らないと考える。特に、中井町の東名高速道路付近では造成工事が行われており、舗装されれば、そこを流れる雨水等は必ず葛川に流れることになる。 私は、町商工会館付近から海までトンネルを設置し、バイパスの役割を持たせることがよいと考えている。下流の対策が必要である。
町長	下流の大磯町付近から整備を始めて、新原田橋付近で整備が停止している状況である。新原田橋付近がボトルネックになっていることは県も認識しており、県はJRとの交渉を改めて進めるとしている。 なお、中井町の造成地に関して情報は得ており、調整池が設置されることである。 また、海へ流す方法については、さまざまな方から聞いている。県も聞いているはずだが、まずは現在の整備計画を進めていくことになる。

参加者	葛川は二宮町・大磯町・中井町が関わっている。3町で国へ要望を提出し、対策させることはできないか。
町長	国としても、今すぐに対策することは難しいと考える。
都市整備課	葛川の整備推進については、神奈川県町村会及び3市3町広域行政推進協議会（平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、中井町、二宮町）において、県へ要望書を提出している。なお、県により令和7年12月から暫定整備として倉田橋下流から新田橋下流までの区間ににおいて、河床掘削工事が着手されている。

交通安全対策について

参加者	近年は児童・生徒の登下校時の事故が多く報道されている。町の小・中学校では事故防止に向けた指導等は行われているのか。自宅付近では30km制限の道路であっても60kmで走行する車もある。児童・生徒の事故に繋がらないよう、町では対策を考えているか。
町長	小学校では、入学後や夏休み前に交通安全指導が行われている。過去にはスタントマンによる実演も行われているためアリティがある。 通学路は、歩道またはグリーンベルトを指定しているが、グリーンベルトにはガードレールがないため、気を付けなければいけない箇所もある。 また、町ではスピードを緩める工夫として、道路上に「あっ！」と標記している箇所もある。スピードを緩めてもらえる方法を警察にも相談しながら、ハード面での整備も考えていきたい。
参加者	町内すべての小・中学校で交通安全指導は行われているのか。
町長	交通安全指導は、学校の授業の中で実施し、町や交通安全協会、警察はその支援をしているが、基本的にすべての小学校で行っている。

にのみや学園について

参加者	にのみや学園の設置者は二宮町である。そうであれば、なぜ「町立にのみや学園」にしなかったのか。
教育指導課	小中学校は「二宮町立〇〇学校」と条例で定めていることから、小中一貫教育校の名称としては規則で「にのみや学園」とした。（にのみや学園 二宮町立〇〇学校）

参加者	小・中一貫教育の課題は何か。
町長	小学校及び中学校の教師が交流をしており、カリキュラムを作成する場面でも両者の気づきがあり、いわゆる「中1ギャップ」をなくす効果が生まれている。 その他にも、3小学校の6年生が集まり、交流会を開催し、顔を合わせる機会が創出されている。 一方で、施設一体型小中一貫教育校の時期は児童・生徒数の減少率が予測よりも遅くなっているため検討が必要である。

参加者	義務教育校とする考えはあるか。
町長	将来的には小・中一貫校となるため、その際は義務教育学校となることも考えられる。ただし、減少率を考慮すると2040年以降になるのではないか。

参加者	にのみや学園をもっとPRすべきではないか。
町長	にのみや学園がどのようなものか理解されていないこともあるので、概念などをPRしていく。

災害対策について

参加者	昨年10月に県とJRが協議したと聞いているが、内容を把握していれば教えてほしい。
町長	県からの報告はなく、町では内容を把握できていないため確認する。
都市整備課	県とJRの協議の内容は、県に情報を求め、県と連携して情報提供に努める。

参加者	先月の津波警報が発令された際に、防災メールを大量に受信した。二宮町の被害状況やひつ迫度がわかりづらかったため、改善してほしい。 また、葛川が溢水した際にラディアン裏の駐車場に車を避難させることができたが、移動している間に水が溢れてしまい、自宅に戻れない可能性もある。役場の駐車場など移動先の工夫も検討してほしい。
町長	通知の設定を変更したため、改善されている。緊急時には様々なアプリから様々な情報が送信されるため、わからなくなるとの声をいただいている。そのため、情報を迅速かつ正確に得られるよう整理を進める必要がある。
防災安全課	役場駐車場は、大規模災害時に他の関係機関が駐留する場所とするため、町民の車両を避難させる場所とすることはできない。 なお、令和7度からはラディアン裏の町営第1駐車場を車避難場所として運用している。葛川の性質上、台風10号の例をみても溢水時間は短時間であり、車避難場所から長時間に渡って帰宅できなくなることは想定していない。

参加者	雨水貯留タンク以外に町独自の対策はしているのか。発災以降、町の対策が見えてこない。 側溝清掃を町に依頼をしたが、優先順位を付けられ、あしらわれたことがある。町民の命に関わることについては、真剣に考えてほしい。小さい町だからこそできることはある。
町長	担当職員では対応の可否を即答できない場合もあるが、町民の意見を真摯に受け止め、誠実に対応しなければならない。また、対応の可否を即答できない場合は、その可否の回答ができる日時をあらかじめ伝えるようにしたい。
都市整備課	側溝清掃の依頼を受けた際には現地の状況を確認し、その後の対応について説明を行うとともに、大雨等による浸水被害が発生しないよう、側溝清掃等を順次対応している。

コミュニティバスについて

参加者	コミュニティバスを利用しているが、バス停に日除けなどは設置できないか。
町長	日除け以外にも、ベンチ設置の要望もいただく。スペースの問題等も含め、難しいと聞いている。
都市整備課	「道路構造令」及び「二宮町道路構造等の基準を定める条例」において、上屋を設ける場合、「歩道の幅員が4m以上」と定められている。 コミュニティバスのルートには、条件を満たす歩道がないため、バス停に上屋を設置することができない。

元町北防災コミュニティセンターについて

参加者	元町北防災コミュニティセンターの管理人が変わった際に、案内がなく、新しい管理人に驚いてしまった。管理人が変わった際にお知らせしてもらえないか。
町長	管理人が変わった際には、管理人についてお知らせできるようにしたい。

湘南ケーブルネットテレビに掲載されている情報について

参加者	湘南ケーブルテレビに町の情報が掲載されているが、コミュニティバスの時刻表やごみの分別が更新されていない。更新しないのであれば削除してほしい。
企画政策課・生活環境課	コミュニティバスの時刻表とごみの分別については、最新の情報に更新されていることを確認した。

ラディアンの利用方法・時間について

参加者	ミーティングルームは、午前は3時間、午後は4時間である。午前中が1時間短いのは部屋の仕切り板を設置するためと聞いた。仕切り板を設置するために、午前中の1時間を使用するのは非常にもったいない。 また、利用できる時間を2時間にすれば、有効活用できるのではないか。会議などは2時間程度で終了することができ、4時間のうち2時間は無駄になり、2倍の利用料が発生することになる。さらに、キャンセル料が施設で異なる。なぜ、町の施設で運用方法が異なるのか。
生涯学習課	生涯学習センターでは、利便性を図るため、ミーティングルームとホールの使用時間区分を合わせることとしている。

民生委員の人員不足について

参加者	地区役員の人員不足は深刻である。特に今年度に委員の改選がある民生委員は、人員がない地区もあるようだ。候補者のリストアップなど、町がフォローしてくれないか。
町長	人員不足は町も認識している。民生委員の中にはきめ細やかな方もいる一方で、新任の民生委員にそのレベルを求めてしまうと委員になる方がいなくなる可能性もある。最低限のことを行ってもらうなど、町としても委員になってみたいと思える体制にしていきたい。